

## 菅原 真 先生

### 先生のプロフィール

【出身地】

山形県鶴岡市

【専攻】

憲法学

【近年(2~3年)の担当科目】

人権各論 A・B、統治機構、日本国憲法〔共通教育〕

【好きな食べ物】

お魚



### Q1 先生の研究内容、科目の魅力について教えてください

日本とフランスの憲法を主対象に、人権と市民権を主たる研究内容としています。法律家やさまざまな人々とコミュニケーションをとりながら、新たに生起する人権問題に取り組むことができるのが一番の魅力だと思います。

### Q2 ゼミ生の印象について教えてください

今年の3・4年生ゼミの皆さんは、報告の内容も充実しており、ディベートにも真摯に取り組んでいて、大変頼もしく思いました。他大学（2024年度は愛知大学）とのディベート大会でも全勝して見事でした。

### Q3 先生の学生時代のことについて教えてください

貧乏学生でしたが、尊敬する法学部の先輩たちが所属する研究会に入り、憲法や民法等を勉強しました。レジュメの作り方、勉強の仕方、議論の仕方をそこで学び、充実した毎日を過ごしました。3・4年生になるとゼミが始まりましたが、私は憲法ゼミに所属しました。ゼミの時間は金曜の3・4限目で、まずソフトボールを行った後、毎回各発表グループによる分厚いレジュメによる報告と長時間の激しい議論、その後は深夜まで飲み屋で飲み会を行いました。毎年、ゼミ旅行やゼミ合宿、浜コン（浜でコンパ）も、学生が中心になって企画しました。今でも当時の仲間たちとは年賀状のやり取りをしています。恋愛もしましたし、充実した日々を過ごし、楽しい青春時代でした。今考えると、とても牧歌的な時代だったと思います。

#### Q4 学生のうちに経験すべきこと、つけておくべき力について教えてください

大講義室での授業を通じて多くの知識をインプットするだけでなく、少人数のゼミを大切に、報告やディベート、卒論執筆を通してアウトプットすることにも力を入れてほしいと思います。学生は自由な時間があるので、様々な人と出会い、自分の能力を磨いて、自分のために、そして社会のために、自分の資源を使える人になって欲しいです。

#### Q5 南山大学の印象について教えてください

まず、校舎が綺麗だと感じました。個性豊かな先生が多く、いつもたくさんのことを学ばせていただいています。クォーター制が導入され、すぐに定期試験の時期がやってくるので学生も教員も慌ただしく準備しないといけませんが、しっかり頑張っていきたいです。

#### Q6 学生に向けて一言お願いします

自分も他人も大切に、かけがえのない青春時代を過ごしてほしいです。

★ プログレッシブ 菅原 ゼミの実態！（2024 年度ゼミ生 12 名）

★ 菅原 先生のトリセツ

- ・ 学生想いの先生です！
- ・ どんなに多用であっても、親身に対応して下さいます
- ・ ゼミ生の希望があれば、裁判傍聴やフィールドワークなど、ゼミ時間外の活動も企画して下さいます

#### 日々や休暇中の課題

##### 【日々の準備、課題】

- ・ 報告の準備
- ・ ディベートの準備

##### 【長期休暇課題】

特になし

#### 活動内容

##### 春学期

- ・ 憲法概説書をまとめる
- ・ ディベート

##### 秋学期

- ・ テーマに沿って報告する

（2024 年度のテーマ：

性的マイノリティの権利、外国人の生活保護）

- ・ 他大学とのディベート大会

（2024 年度は愛知大学に 2 勝しました）